

ありませんでした。県庁からは、逐条解説、国からの通達等が見当たらないので、規程を設けることが誤りかわからないとの返事でした。今後、毎月例月監査を規程で定めることが誤りであることが判明した場合、直ちに監査委員会に諮り、規程を変更したいと思えます。

北条町のまちの活性化について



黒田秀一 議員  
(清風会)

**問** 市道北条ハイツ線の街路樹の撤去に至った経緯と、アンケート調査した結果、どうしようとしているのか。

栄町・住屋町地区は道も狭く、お年寄りも多く住まれており、救急車やタクシーを呼ぶにも広い道まで出なければならぬ。また、空き地や空き家が多く目立っている。区画整理をしていただき、お年寄りが安心・安全に過ごせるようにしていただきたいが、

計画は。



住屋町

答

街路樹の撤去に至った経緯は、歩道の街路樹が大きく育ち過ぎ、傾いて生えているため、歩行者や自転車の通行の妨げとなり、事故につながるため、通行者の安全を図る必要性から、撤去を含めた今後のあり方について、昨年10月にアンケートを実施しました。その結果、通行者の安全を図るべきとの意見が多数で、撤去と結論づけました。撤去後の復旧については、緑が必要との意見もあり、住民参加型のフラワーポ

ットによる景観づくり等ができないか検討したいと考えています。

栄町住屋町を初めとした北条の旧市街地では、狭隘な道路が多く、安全・安心の観点から、道路復員の確保は必要と考えていますが、区画整理事業の計画は、現在ありません。また、旧市街地の中心に復員12メートルの都市計画道路を都市計画決定されていますが、財政状況等を考えると、整備の実施は難しい現状です。

医療保険適用施設及び介護保険適用施設(特養)の計画(介護基盤の緊急整備等)について



小谷安富 議員  
(太陽の会)

問

①加西市民病院で現在退院許可が出ているのに常時入院されている方が何名ぐらいおられるのか。また入院を続けている理由は。

②介護保険基盤の緊急整備(21年5月28日)を見て、今から応募しても間に合う。こ

れを逃したら、加西市では5年先でないと特養はつくれないが、これについてはどうか。

答

①退院許可後の入院を続けている患者は、常時40〜50人程度います。退院許可後も入院を続ける理由の多くは、入所先の調整が長引くことです。今後、患者も高齢化がさらに進み、独居老人、高齢者世帯、家族の協力が得にくい老人、認知症など、退院困難な事例がさらに増えてくると考えます。

②市長在任中に早くそういう手を打っていきたく思ったところです。後ほど市民福祉部長ほかと協議して取り組んでいきたいと思えます。

学校問題について



西川正一 議員  
(正睦会)

問

私は前々から公共事業、民間事業でも資源の再利用ということで、三洋電機の残土の処理をクリーンセンターに持って行っていただ

き、市は800万円余り助かった。北条中学校は来年夏ごろに、いまの2棟のコンクリートをつぶすが、現場で破壊・破砕して、現場で利用しはどうか。

加西市で今回の災害において床下に水がたまって困ったところがたくさんあると聞いている。市長も私も2、3年前から2回程、宮前の北条中学校の下の災害における床下浸水を見に行った覚えがあるが、今度の北条中学校の校舎の改築において、周辺環境整備という形で立ち上げていただいたことにおいて、どのようになっているのか。

答

コンクリート殻の再利用について、推定で4,700立米、1万1,000トンぐらいあり、これを破砕して活用することを考えています。使う場所はグラウンドになると思っています。

宮前の水害について、学校が原因で周辺にご迷惑をかけるような事態は徹底して避けなければいけないので、(地元宮前町住民等)関係者協議の上、進めているところですが、詰め作業にこれから入っていくところです。